



Look Beyond Yourself 自分を超えた眼を

1991-92年度国際ロータリーのテーマ



- 国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー ●第2560地区ガバナー 橋本 力
- 会長——渡辺宏策 ●副会長——内山辰策 ●幹事——石橋育於 ●副幹事——外山雅也
- SAA——五十嵐力 ●副SAA——渋谷正一 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 35-3477
FAX 32-7095

出席者会員数 会員 77名中 47名

先々週出席率 90.00% (前年同期 89.19%)

今日のお花 カーネーション、黄色ゆり

ヴィジター
三条南より 坂本洋司君、池田 繁君
三条北より 村山誠一君、山上茂夫君

先週のメイクアップ 4/16 新潟西へ 渋谷健一君

4/20 三条南へ 金子左武郎君、鈴木宗資君、斎藤弘文君、
近藤雄介君、渡辺惣吉君、広岡豊作君、
五十嵐総一君、岩井数央君、加藤紋次郎君

4/21 三条北へ 堀川政雄君、小越憲泰君

会長挨拶 渡辺(宏)会長

昨日まで5泊6日で家内とオーストラリアに旅行してきました。オーストラリアも日本経済の影響を受ける面が多く、日本がくしゃみするとオーストラリアは風邪を引くとのことで、現在は不況で失業率は12%と大変多いとの事です。

しかし面積は日本の21倍、人口は8分の1で各種資源も豊富で余裕が有るようです。

失業保険は日本と違い何年でも支給され、独身者で月5万円位支給され、食って行ける

とのことです。逆に給与所得税が高く37%も取られるので良い職場で無いと敢えて仕事をしないで失業保険で暮らすと言う風潮のようです。しかし仕事をするときは一生懸命で、ホテルの清掃係りも若い女性が多いようでしたが、汗をかく程の力の入った仕事振りでした。1ヶ月のバカンス休暇を取る事になっているそうですが、その時は普段の月より20%給与が多く支給されます。バカンスで金が掛かるからと言うことです。バカンスに対する考え方の違いを感じました。

しかし日本のようにボーナスは無いようで、バカンス月に20%加算も出来ない話で無いと思いました。我々も段々休日増やす方向ですので、バカンスの取りかた、対応等研究する必要があると思いました。

幹事報告 石橋幹事

◎例会変更のお知らせ!

見附RC——4月23日(木)→4月25日(日)に夜桜例会 PM18:30~ 於 つるの湯

◎橋本ガバナー事務所より

ロータリーボランティア活動(RVIA)アンケートのお願い!

(アンケート用紙配布)

クラブ提出締切り……4月末日

5月のお祝い

- ◎会員誕生祝 1日 山本福七君 12日 木許紘一君 19日 山谷春夫君
20日 渋谷正一君 24日 小林敬典君 24日 松谷昊吉君
- ◎結婚記念 1日 近藤雄介君 4日 平原二三郎君 5日 小越憲泰君
5日 小林英雄君 6日 斎藤権八君 7日 大谷幸平君
8日 佐野勝栄君 10日 野水文治君 10日 加藤紋次郎君
11日 山浦日出夫君 20日 渡辺惣吉君 22日 五十嵐昭一君
- ◎100%出席賞 2年 渡辺勝利君

ニコニコBOX ¥12,000 4月22日分

渡辺(宏)君 取引先の関係の団体で家内と一緒にオーストラリアに行ってきた。お天気にもめぐまれ楽しい旅行でした。

小林(英)君 18日、19日まるよしさんで開催した家内のいけばな展、県内だけでなく東京、長野からの著名な先生が来条され盛会でした。

五十嵐(晋)君 4月19日、東京上野の国立博物館で曾候乙暮展を見学しました。青銅の精巧さに驚きました。

- 榎本君 先週土曜日に仕事で名古屋市へ日帰りで行って来ました。仕事はうまくゆきました。
- 川口君 結婚記念日に美しい花束をいただきまして有難うございます。
- 佐藤君 下手な卓話をさせていただきます。よろしくお願い致します。
- 菊地君 今月よりお仲間に入れていただきました。よろしく御指導いただけますように。
- 小林(正)君 都合に依り早退させていただきます。
- 加藤(紋)君 5クラブ合同ゴルフ大会が盛況裡に催されました。戦況は次回週報にて。燕三条ワシントンホテル竣工披露、大変有難うございました。
- 中村君 先日5クラブ合同コンペがあり偶然にもペリアにはまりよい成績を納めることができました。(準優勝)ありがとうございました。

ロータリー財団ボックス ¥3,000

- 菊地君 長男が今春より中学生です。
- 吉井君 孫が我が家に帰って来ました。毎夜泣いています。美人に育ってくれば……。

委員会報告 ゴルフ同好会 加藤紋次郎

第5回5クラブ有志ゴルフ大会が4月16日(木)出雲崎コースに於て開催されました。当日はあてにならない天気予報「雨」が参加者の行いの良さで雨もなく、まあまあの好天で、又表彰式懇親会の盛り上がりも最高で各クラブ共和気合々ゴルフ大会でした。

我が三条RCの団体戦の成績は第3位でしたが、若手ホープの中村和彦君が個人戦で準優勝の栄冠を獲得、松谷昊吉プロはドラコン2個、ニアピンを取り、飛賞20位も合わせて4個の賞品獲得(賞品ドロボーと陰の声あり)、加藤征男プロも「42」の好スコアを出し乍らも飛賞(25位)に甘んじ、又細井増雄プロもアウトスタート絶好調で「40」でラウンドしたが後半みだれ打ち「51」も打ち28位に終わった。小職は、新ペリア戦で「くじ引き役」をした為に、隠しホールを見た訳ではないが(?)ダボのところ良く当たって、5位に入賞させて貰いました。リード役となる関本哲秀プロが突然の交通事故で参加出来なかったのが残念でした。

秋の大会には是非共多数の御参加を期待しています。

成績	団体戦	個人戦
	① 三条南ロータリークラブ	① 佐藤義英(三条北RC)
② 三条中央ライオンズクラブ	② 中村和彦(三条RC)	
③ 三条ロータリークラブ	③ 吉田行雄(三条南RC)	
④ 三条北ロータリークラブ	④ 刈屋欣一(三条LC)	
⑤ 三条ライオンズクラブ	⑤ 加藤紋次郎(三条RC)	

卓話

佐藤 武 会員

今年3月に入会させて頂いた佐藤です。生年月日が昭和13年4月22日です。誕生日に卓話をさせて頂くことになりました。話下手な私にとりましては、良い勉強させて頂くチャンスと思っております。

トピックスをお話し出来る趣味を持ち合わせていませんので、仕事に関する話をさせて頂きます。

明眸皓歯、明るい瞳と白い歯という美人の代名詞があります。高齢者社会を迎えて、体力、美貌を出来るだけ長く保ち続け、質的に充実した豊かな人生(Quality of life)を送りたいものです。その為には口腔の健康を維持していかなければいけません。例えば歯の喪失により、咀嚼能力の極端な低下をきたしますと、成人病予防のための食事が十分とれない為に、心臓病、脳卒中等の疾患に罹患し易くなるわけで、阪大医学部公衆衛生学の新代先生は次のように述べています。(新潟日報1989年11月30日記事)

「高齢者の歯のある、なしの分かれ目は40歳からです。30代までは磨き方の健康教育だけでよいが、40代を過ぎると定期検診のある無しで大きな差が出ます。50代以降は継続していると最後まで十分に自分の歯をつかえます。それは元気な老人が増えることです。口腔の健康について継続指導しないと60歳で半分の歯がなくなり、その後どんどん歯無しが増加していきます。……」

この話は昭和62年歯科疾患実態調査とも一致しております。口腔健康は全身の健康にとって重要です。そこで8020運動が提唱されました。その運動の趣旨は80歳の時点で健全な20本の歯で十分な咀嚼を行って健康の維持増進を行い、質的に充実した豊かな人生を送りましょう、という事です。口腔の健康は歯周組織の健康に依存しています。そこで歯周疾患に注目して頂きたい。

毎日歯磨きをしているのと言われると思います。歯磨きで歯肉より露出している歯の面がきれいに清掃されますが歯肉と歯の間はよごれたままです。歯肉と歯の間の清掃は歯科衛生士によって定期的に清掃されることが望ましい。そうしないと細菌性プラークによって歯周疾患が始まります。痛みがないだけに放置されやすく、知らない内に進行していきます。「病状が進行し；自覚症状が出てから；痛みが出てから；治療」これを数年おきにくりかえしていきますと、歯科疾患実態調査表の通りになっていきます。

現在、60代70代の方で入れ歯を使用なさっている方が大変多いというのが実状です。例えが適切でないかもしれませんが、調子良く運転なさっている自動車安全運転の基本的条件である車体の6か月点検、これを無視して調子が悪くなってから修理をやっていたら、現在より事故は多発していると思われれます。



卓話

菊地 渉 会員

新入会員の菊地渉でございます。僧侶です。自己紹介は先週のクラブ週報に掲載していただいたのですが、「趣味」の欄は皆さんゴルフであるとか囲碁であるとか書かれておりますが、この頃「特になし」とか「特記すべきものなし」というふうにお答えしております。そう言いますと何か淋しいかぎりなのですが、時間さえあればワープロに向かっております。もっと女房や子供達と向合う時間をつくれれば良いのですが、ワープロに向かって「仕事」をしております。

ワープロの画面を真ん中から二つに分けて、左の画面に古代インド語から翻訳されたお経を、右の画面に漢訳されて日本に伝わっているお経を書き写して、その比較表を作っております。遅々として進まない作業ですが情熱をもって取り組んでおります。

お釈迦さまが説かれた「お経」が、当時は文字がございませんので口から口へ伝わっておりました。お釈迦さまの死後、経典という形でインド語で結集(けつじゅう)されました。その経典が、孫悟空で有名な三蔵法師等によって中国へ持ち帰られて翻訳され、日本にも伝わり、今日法事や仏事で読誦されておるわけです。また現在は学問が進みまして漢訳を通さずにインドのお経そのまま見ることが出来るようになりました。そのインドの原典と日本に伝わっている漢訳されたお経の比較表を作って分かることなのですが、お経自身が大きく成長、増幅しているんです。

仏教はシルクロードを経て中国へ日本へと伝わったという言い方を致しますが、別にジープに乗って運ばれて来たわけではないのでして、シルクロードの人々を救いながら、人から人へと伝わって来たものなのですね。シルクロードの人々の苦しみ、喜び、願い、情熱というものが経典の成長の増幅された部分に見る思いがしております。

そういう作業の暇を見つけて、小説や童話も書いております。童話の方は仏教の教えを童話仕立てにして、兎や猿や象に話をさせたりして楽しんでおります。何時の日か夢をなくした子供達に贈りたいものだと考えております。

小説の方は、提婆達多(だいばだつた)というお釈迦さま従兄弟で、後に仏教教団から悪人の代表とされるひとりの秀才を取り上げて、現代に書き換えて書いております。これにはヒントがございました。ソウルオリンピックの時のベン・ジョンソンなんです。彼の実力なら薬の力を借りずともメダルは獲得できたと思うのです。そんなジョンソンが禁止



されている薬を用いた。力があるが故におちいる罪。ちょうど秀才が満点を取り続けるためにカンニングをするような、実力がありながら、それが故の弱さ。罪。これがテーマです。

最後に私はもうすぐ40歳になります。こうしてロータリークラブに入れていただきました。今までの40年を振り返ってみれば、自分を頼み、自分の力だけを信じ、それでいて何かに怯えたような、優越感と劣等感の繰り返しの人生でした。これからは、「怒ってもいい、貪ってもいい、ただ奢ることのないよう」。こんな生き方をしたいと願っております。どうもありがとうございました。

4月29日例会	(祝)休会
5月6日例会	卓話「三条市体育協会について」杉野奎司会員
5月13日例会	夜例会 PM6:30~ 於 燕三条ワシントンホテル
